

教育現場での インターネットセキュリティ対策

「EDU-TALK SUMMER FORUM 99」
～ 学校のインターネット接続について考える～

1999.8.10

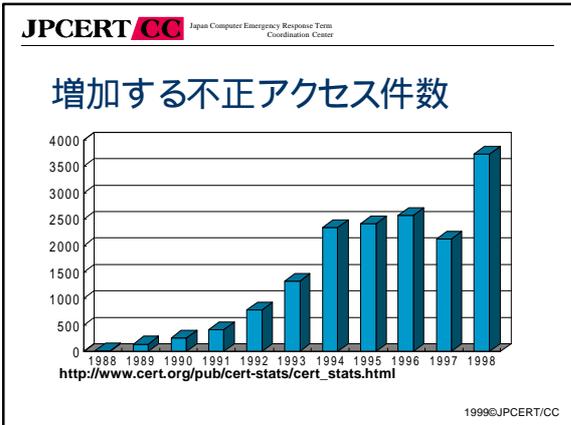
山口 英 JPCERT/CC 運営委員長

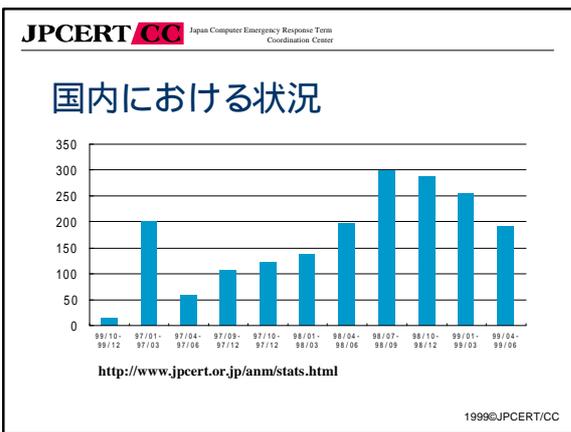
概要

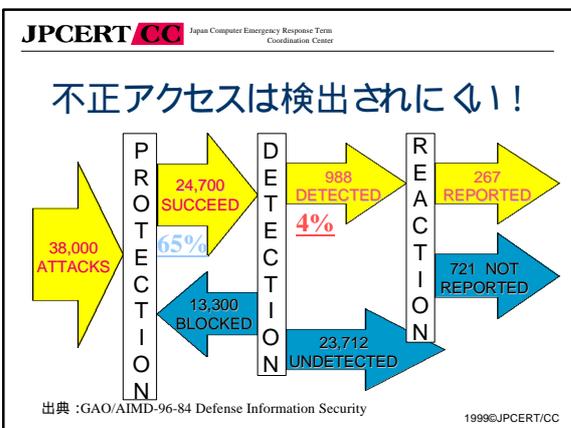
- 不正アクセスの動向
 - 発生状況, パターン, 事例
- 対策のポイント
 - 目標設定, システム管理, 教育 啓発
- 学校におけるセキュリティ対策
 - みなさんにお願したいこと..

1999@JPCERT/CC

不正アクセスの動向







不正侵入者の組織化

- 情報交換の場
 - メールリスト
 - WWWサーバ、FTPサーバ
 - 雑誌
- 交換される情報
 - 手口の公開
 - 流出したパスワード 電話番号のリスト 流出した情報
 - 侵入用のソフトウェア

1999@JPCERT/CC

不正アクセスのパターン



1999@JPCERT/CC

不正アクセスのパターン

- 不正侵入
 - パスワード推測 破り、パケット盗聴、バッファあふれ
- 踏み台・中継
 - 電子メールやネットワークニュースの不正中継、Webプロキシ悪用、匿名FTP悪用、パケットの増幅(?)
- 運用妨害 業務妨害
 - パケット大量送信、電子メール爆撃、電子メール偽造、Webチャット潰し、ネットワークニュースのコントロールメッセージ
- 無差別攻撃
 - ボートスキャン

1999@JPCERT/CC

狙われやすいサービス

- Web
 - CGI プログラム
 - プロキシ不正利用
 - ページ書き換え
 - 運用妨害
- finger
- telnet
- NFS (statd)
- DNS (named)
- IMAP、POP
 - 不正侵入
- FTP
 - ディレクトリ不正使用
- 電子メール
 - 不正中継
- ネットワークニュース
 - 不正なポスト
 - コントロールメッセージ
- ルータ
 - 侵入、設定変更、踏み台
- and more

1999@JPCERT/CC

頻発するWebjack

- 山ほどある... (抜粋)
 - Yahoo
 - UNICEF
 - Harvard University
 - Oregon Department of Forestry
 - www.*.go.id
 - One Touch Interactive
 - First Michigan Bank
 - Bay Area She Hawks
- 有名どころでは... (抜粋)
 - CIA
 - Air Force, Army
 - WhiteHouse
 - 米国上院
- 最近、国内でも流行りはじめた!

1999@JPCERT/CC

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント

不正アクセス対策のポイント

- 完全な対策はない...
- 目標を設定する
 - 必要なサービスは何か
- システム管理に求められるもの
 - セキュリティポリシーの策定と施行
 - 不正アクセス発生時の緊急体制の整備
- 利用者(生徒)に対する教育・啓発

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント

- 完全な対策はない...
 - 変化が激しい
 - 昨日は安全でも今日も安全とは限らない
 - 本質的に防御できないものもある
 - それでも注意すれば「だいたい」は「防げる」
 - ほとんどの不正アクセスは既知の手口である
 - 事前の工夫によって影響を低減できる

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント

- 目標を設定する
 - 必要なサービスのみ提供
 - 利用者が求めるサービスの調査
 - リスク分析
 - 不必要なサービスは停止
 - 利用しないプログラムは使用不可能に
 - バランスを考慮
 - 利用者が「秘密の抜け穴」を作る

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント ～ システム管理に求められるもの

- セキュリティポリシーの策定と施行
 - 保護対象の明確化
 - 脅威・リスクの把握
 - 対策コストの設定
- 運用状況を記録し、定常的に検査
- 最新のセキュリティ情報を入手し、メンテナンス
- セキュリティポリシーの見直し(改訂)

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント ～ システム管理に求められるもの

- 不正アクセス発生時の緊急体制
 - 責任者と対応者
 - 連絡手順
 - 作業の優先順位
 - 復旧手順
 - 外部との窓口

1999@JPCERT/CC

不正アクセス対策のポイント

～ 利用者(生徒)への教育 啓発

- リスクの存在を理解させる
- 利用者としての責任を理解させる
 - セキュリティポリシーの遵守
 - 異状の報告

(例)

- パスワード
- 電子メールアドレス (ローザ名)

1999@JPCERT/CC

学校におけるセキュリティ対策

学校の特殊性

- システム運用 利用に関わる人たちが多い
 - 教員
 - 学生
 - 教育委員会
 - 保護者
- コンセンサスの形成が必須
 - セキュリティはシステム運用 利用に関わる全ての人の問題
 - 相互理解は必須

1999@JPCERT/CC

JPCERT/CC Japan Computer Emergency Response Team
Coordination Center

教育現場を取り巻く状況

学校 (教育 啓発)

企業 (技術 運用支援)

公共 行政機関 (相談 調停)

1999@JPCERT/CC

JPCERT/CC Japan Computer Emergency Response Team
Coordination Center

まず考えるべきことは

- 役割分担とコミュニティの立ち上げ
 - 行政, 学校, 家庭
 - 立場 役割 サービス
 - 何に責任を持つのか, 1点に関する相互理解
 - 抜け落ちている役割を作り出さない
- 相互のコミュニティ間の調整
 - 技術交換
 - 緊急時の協調体制の確立

1999@JPCERT/CC

JPCERT/CC Japan Computer Emergency Response Team
Coordination Center

その他の注意点

- ある日、いきなり管理者になってしまったとき
 - ひどく悩まない!
 - 近場で、コミュニティを作ろう
 - 勉強しよう
 - パブリック・リソースの利用
- ある日、困った問題が起こったとき
 - 緊急対応体制を作ろう
 - 教育機関のための支援機関があるといいなあ
 - JPCERT/CC もご支援します

1999@JPCERT/CC

JPCERT/CCについて

JPCERT/CC の役割

- コンピュータセキュリティインシデント対応機関
 - 1996年10月事務所開設
 - 不正アクセスの届出受付と対応
 - セキュリティ関連情報の提供
- コーディネーションセンター
 - 中立 民間 非営利
 - ・ 特別な権限なし
 - 技術面での活動
- 各国 CSIRT との協調
 - Aug.98 に FIRST 加盟



1999@JPCERT/CC

取り組み (再発防止)

